

工事完了検査における留意点

開発工事における擁壁構造物に当たっては、特に注意し検査確認する必要があります。

このことから、検査時においては現況地盤の土質試験、地耐力試験の確認、また、擁壁の埋戻土等については設計条件に基づく内部摩擦角などの土の確認、現場打擁壁については鉄筋径や配筋ピッチ、コンクリート強度等が確認できるような資料を求めるので事前にチェックしてください。

工事完了届時に提出を求めるデータ

- 地盤調査報告書（スウェーデン試験等）
- 現場採取土配合試験報告書（地盤改良する場合）
- 支持力確認報告書（キャスポル試験等）
- 盛土・埋戻土試験報告書
- セメント配合量報告書

報告書のチェックリスト

（ 報告書には試験会社・担当者名が記されていること ）

擁壁の地耐力確認

- 見え高 2.0m を超える擁壁の場合
 - ・中・大地震検討
 - ・地盤調査
 - ・スウェーデン試験等による地耐力
 - 見え高 2.0m 以上の擁壁の場合
 - ・地盤調査
 - ・スウェーデン試験等による地耐力
 - 全高 2.0m 以上の擁壁の場合
 - ・施工前にスウェーデン試験等による地耐力の確認ができること。
 - ・施工前のキャスポルでの確認は不可。
- } を行い設計に反映していること。

スウェーデン試験等（地盤調査）

- 調査位置がわかる図面
- 調査中の写真を各ポイントごとに撮影

地盤改良

- 現場の地盤改良施工状況が確認できる写真を添付
 - ・（セメント搬入と添加後(空袋)が判る写真）
 - ・改良範囲のわかる写真を添付

- キャスポル試験中の写真を添付（全高 2.0m 以下）
- 改良結果、支持力が設計値を満足していること。
- 隣地と同時検査の場合でも、一括でまとめずに申請地それぞれの支持力確認データ・写真を添付

盛土・埋戻土

- 土質条件の試験データ（設計された内部摩擦角・摩擦係数・土の単位体積量重量の値を満足している）
- 盛土の転圧について、おおむね 30cm ごとに転圧している写真を添付

擁壁

設計構造図の通りに擁壁の製品を使用し、施工されているか写真でチェック。

- 基礎材 基礎コンクリート
- 敷モルタル 使用擁壁の材料検収
- 止水コンクリート 裏込材
- コンクリートの仕様は適切か。
- 配筋図通りの施工ができているか。
- 水抜き穴の処理は適切か。
- セパ穴処理は適切か。（現場打ちの場合）

現場検査

- ・ 外周測量
- ・ 雨水排水
 - 集水桝の泥溜め深さ 150mm 以上
 - 側溝内にモルタルの残物等がないか
 - 管渠内に水が溜まってないか
 - 管口の処理がなされているか
- ・ 擁壁
 - 擁壁の寸法・見え高
 - 水抜き穴の処理は適切か。
 - セパ穴処理は適切か。（現場打ちの場合）

上記を確認したので検査を受検します。

確認者氏名 _____